

平成 26 年 第 9 回臨時会

# 岩見沢市教育委員会会議録

平成 26 年 11 月 26 日 開会

平成 26 年 11 月 26 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成26年 第9回臨時会  
岩見沢市教育委員会会議録  
(平成26年11月26日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第15号 岩見沢市立学校通学区域審議会の答申について  
そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	大 橋 弘 道
委 員	佐々木 和 子

教 育 部 長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午前10時00分 開会

○武蔵委員長 ただ今から、平成26年第9回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、佐々木委員さんをお願いします。

それでは、日程番号1、報告第15号 岩見沢市立学校通学区域審議会の答申について説明をお願いします。

○加藤学校教育課長 それでは、報告第15号、岩見沢市立学校通学区域審議会の答申について、ご報告をいたします。

今年度6月に策定した岩見沢市立小中学校の適正配置に関する基本計画に基づき、適正規模に満たない学校の適正配置について審議いただくよう、6月30日付けで岩見沢市立学校通学区域審議会に諮問していたところです。

これを受けまして、岩見沢市立学校通学区域審議会では、全6回の審議会により審議を重ね、11月18日に武蔵教育委員長に答申書を提出いただいたところです。

今回の答申の主な内容は、5年後の平成31年度に適正規模に満たない学校について、適正規模の基準を参考に6つの区分に分類し、優先度の高い2つの区分に該当する学校については適正配置を検討すべきとの内容となっております。

対象となったのは、もともと優先度が高い区分となります、複式学級を有する学校である美流渡小学校、美流渡中学校です。

教育委員会といたしましては、この答申内容を十分尊重し、適正配置の時期や方法を検討のうえ、今年度内をめどに配置計画の案を策定したいと考えております。

また、次年度からは、その配置計画案をもって保護者等への説明会を実施し、配置計画を決定した後、順次計画に沿って適正配置を推進していきたいと考えております。

○武蔵委員長 ただ今、説明がございました。

6月30日付けで諮問いたしました事項につきまして、審議会で答申書という形にまとめていただいたものです。

この件につきまして、何かご意見、ご質問ございますか。

○秋山委員 各学校について、十分に審議いただいたことが見て取れる答申内容となっていると思いますので、事務局はそれを最大限尊重していただき、今後の適正配置を進めていただきたいと思います。

○大橋委員 児童生徒数の減少が進んでおりますので、今般の答申内容にあるとおり適正配置を進めることはやむを得ないと考えます。ただ、保護者や地域住民の関心が非常に高い事からですので、丁寧な説明をお願いしたいと思います。

○加藤学校教育課長 保護者等への十分な情報提供ということも答申の中で触れられておりますので、必要な情報を提供しながら、地域への説明も必要によっては、複数回の実施が必要かと考えております。

○佐々木委員 皆さんと同じ意見ですが、答申にも記載されていますとおり、何よりも子どもたちにとってどういった教育環境が良いのかということを第一に進めていただきたい

と思います。

○武蔵委員長 委員皆様のご意見は、答申内容を考慮し、事務局は丁寧に保護者等に説明をしながら進めてほしいとのことです。

私もまったく同様の意見でありますので、よろしくをお願いします。

それでは、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 では、本件については終了させていただきます。

それでは次に、その他に移ります。

委員の皆様から、何かその他お持ちの方いらっしゃいますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 ないということでございますので、事務局の方から何かございますか。

ないようですので、以上をもちまして、第9回教育委員会臨時会を終了させていただきます。

ご苦労さまでした。

午前10時08分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第16条の規定により、ここに署名する。

署名委員